



市民総参加子ども育成運動

子どもへのまなざし運動特集

子どもへのまなざし100%のまちをめざして

「大人の出番！」により、子どもたちの笑顔や元気な姿が各地域で見られるようになりました。

サガ・ライトファンタジーパレード
まなざしパレード隊

今年も、11月1日(火)のサガ・ライトファンタジーパレードにまなざし運動宣伝隊として、市青少年連合会、民生委員協議会などの地域の団体や市職員ほか、総勢200人が参加し、バルーンフェスタを盛り上げました。



子どもの成長に 喜びの涙！

～若葉保育所 運動会～

「赤勝てーチャチャチャー！」「白勝てーチャチャチャー！」

秋日和にめぐまれた10月8日(土)、佐賀市立若葉保育所で、第65回運動会が開かれました。

来年、新しい保育所の建物が完成するため、永い歴史ある現在の保育所では、今回が最後という記念すべき運動会になりました。

「かけっこ」「ダンス」などバラエティにとんだプログラムの中に、「さあ！親の出番です！」というユニークな綱引き大会がありました。親が綱を引き、子どもが応援して、「まなざし運動」の緑の旗が大きく振られ、とても盛り上がりました。

子どもを一生懸命応援している一人のお母さんの姿が強く印象に残りました。「去年は走りもせず、ダンスもしなかった子どもが、今年にはほら、あんなに上手に踊っています！」と感動しながらポロポロ涙を流されました。とても美しい涙でした。

物があふれる今の世の中、物事に感動する若者が少ないようですが、子どもの成長には全ての親の皆さんに、心から喜び感動して欲しいと願っています。美しい涙と共に！

まなざしリポーター 的野 勝



地域元気アップ事業

鍋島の子どもをほぐむ会 『絆』

～子どもたちがボランティアで活躍～

10月30日(日)に鍋島校区最大のイベント「鍋島ふるさとふれあいまつり」を開催しました。

昨年度から「地域のまつりに！」をテーマに、舞台発表・展示作品等すべて校区の皆さんによる参加となりました。そのまつりに今年は、保・幼・小・中・高の若いパワーを取り入れようと、子どもたちの発表の場を増やしました。また、事前準備や当日のボランティアにも、たくさんの小・中学生が参加しました。初めは、とまどっていた子どもたちも、徐々に自分たちで役割を見つけ、終わりににはとても良い笑顔があふれていました。地域の行事に携わることによって大人とのふれあいも深まり、ふるさと「鍋島」を愛する心も育まれるものと思っています。

今後子どもたちが地域で活躍し、子どもと大人みんなが仲良く笑顔で暮らせる鍋島を目指したいと思っています。

鍋島の子どもをほぐむ会『絆』

会長 池田 邦泰



お話し会「べりべり」

～思斉館 小学部～

「今日はどんな絵本かな～」
9月27日(火)に思斉館で「お話し会(べりべり)」が開かれました。

この日は、一年生と二年生の約100人の子どもたちがお話し会のボランティアの皆さんを、目を輝かせながら待っています。

毎週1回、朝1限目が始まる8時25分から8時40分までの15分間、絵本の読み聞かせの楽しい時間です。

久保田地区の子どもの笑顔と絵本が大好きな思斉館のPTA会員や、お話し会のメンバーが、毎週各々選んできた絵本を情感こめて教室中に聞こえるように、読んで聞かせます。

読み聞かせが終わると、子どもたちから拍手が起ります。次はどんなお話があるか、楽しみにしています。

もう11年目になるお話し会、中学部でも学期に1回行われています。「べりべり」会員(17人)の皆さんと思斉館の子どもたちを絵本で結んでいるあたいたい息づなを感じるひとときです。

まなざしリポーター 今泉 正子



地域元気アップ事業

芙蓉校区地域教育推進委員会

～子どもが見守りでまちが元気に！～

芙蓉校区では、子どもたちとのあいさつや登下校時などの見守りを日常化するために、まずは地域の大人たちと子どもたちが顔見知りになる必要があると考えました。

地域元気アップ会議では、子どもたちの登下校ルートを確認し、見守りが必要とされる部分をピックアップしました。子どもたちが通学する時間帯を中心に、各ポイントで手作りイスに座り、のんびりとした時間のなかで子どもたちとの交流を深めようというものです。

10月29日(土)の小雨の中、見守り用のイス作りが行われました。設計、材料の準備、製作の段取りなどはすべて地域の人が行い、当日は大人と子どもも合わせて約30人が参加して製作からニス塗りまでの作業を終えることができました。

この事業で地域全体で子どもを育てるという機運が高まればと思います。

芙蓉校区地域教育推進委員会 代表 田中みゆき



あじまれー「ビバビバ ビーバー」

～ビーバー隊のサマーキャンプ～

「ビュー、あたりー！」「まてー！」天山中腹にある八丁グリーンパークの広場では、子どもたちの水鉄砲で遊ぶ声が弾けています。8月27日(土)、28日(日)に行われた、ボーイスカウト佐賀第一団ビーバースカウト隊のサマーキャンプでの「コマです。ビーバースカウト隊は、幼稚園年長から小学2年生までの子どもたちで編成され、みんなと仲良く元気に遊ぶことを基本とし、その遊びを通して人間として大事な社会のルールや人とのかわり方を学びます。

子どもたちは、体いっぱい使って自然とふれあっています。

夕食よりもバツとりに夢中の男の子。女の子は、真新しい寝袋に早々と入ってイモムシごっこ。参加した保護者は、「このキャンプで保護者同士の距離もぐっと縮まり、活動のお手伝いをする中でママ友が増えるのも楽しみの一つです。」とニコニコ。みなさんも一度のぞいてみませんか？

まなざしリポーター 新郷 典子



問い合わせ

佐賀市教育委員会

教育総務課

子どもへのまなざし運動推進室

☎ 40・7354

FAX 40・7394